

校訓

正しく 明るく 健やかに

令和5年12月13日



職場体験学習、ありがとうございました

品野中学校の職場体験学習は、地元品野の方々(30を超える事業所)にしっかりお世話になっています。ご多用の中、そしてお仕事中に、11月27日・28日・29日の3日間、品中の子どもたちのために貴重な時間をいただき、ご指導いただきましたこと、深く感謝申し上げます。この貴重な体験は、子どもたちにとって深い学びとなり、今後に活かされていきます。本当にありがとうございました。

お互いの気持ちをぐんと近づけてくれるもの

12月の第一週は、人権週間。全校集会で「いのちのおはなし」という絵本の読み聞かせがあった。「自分の持っている自分の時間こそが、自分のいのち。それをどう使うかを大切に生きてほしい」真剣に聞き入る生徒たちの表情が印象的だった。「人間が生み出したものなかで、あいさつのことばほど、素晴らしいものはありません。会う人とよびかけあうことばは、お互いの気持ちを、ぐんと近づけてくれますからね」、その絵本の冒頭にあったことばである。以前、職場体験学習でお世話になったある会社の社長さんが話されたことを思い出す。「どんなに優秀そうな人物でも、あいさつのできない人は信用できない」。社会人として、あいさつというものがどれほど大切なものであるかをじっくりと語られた。本校生徒のあいさつは、品中プライドの一つである。先日、朝早く登校途中の本校の生徒が地域の方に「おはようございます」とあいさつをすると、その方は満面の笑みで「おはようございます。行ってらっしゃい!」と声をかけられた。そして、しばらく生徒の後ろ姿を見送っておられた。その光景がとても爽やかで、居合わせた私がお礼を言うと、「こちらこそ。うれしくて、元気もらっています」と答えられた。毎朝の「おはようございます」が、繰り返すことでどんどん上手になっていく。最近は、目が合うと止まって、こちらを向いて、笑顔であいさつできる生徒が増えた。マナー講座や面接講座で学んだ成果もきっとある。そして、素敵なあいさつの後に自然と「ありがとうございます」「ありがとう」のことばが。品野坂は、朝から「ありがとう」のことばが溢れる。